

～COP10パートナーシップ事業～

9/13
(月)

農林水産業

と生物多様性

に関するシンポジウム in 近畿!

- 日時
9月13日(月)
14:00～16:30
- 会場
近畿農政局
第3会議室
- 主催
農林水産省
- 入場料
無料

開催趣旨

例えば農作物は、ミツバチなど受粉を助ける昆虫、土壌中微生物、また、害虫やそれを食べる天敵など、様々な生きものつながりの中で育ちます。

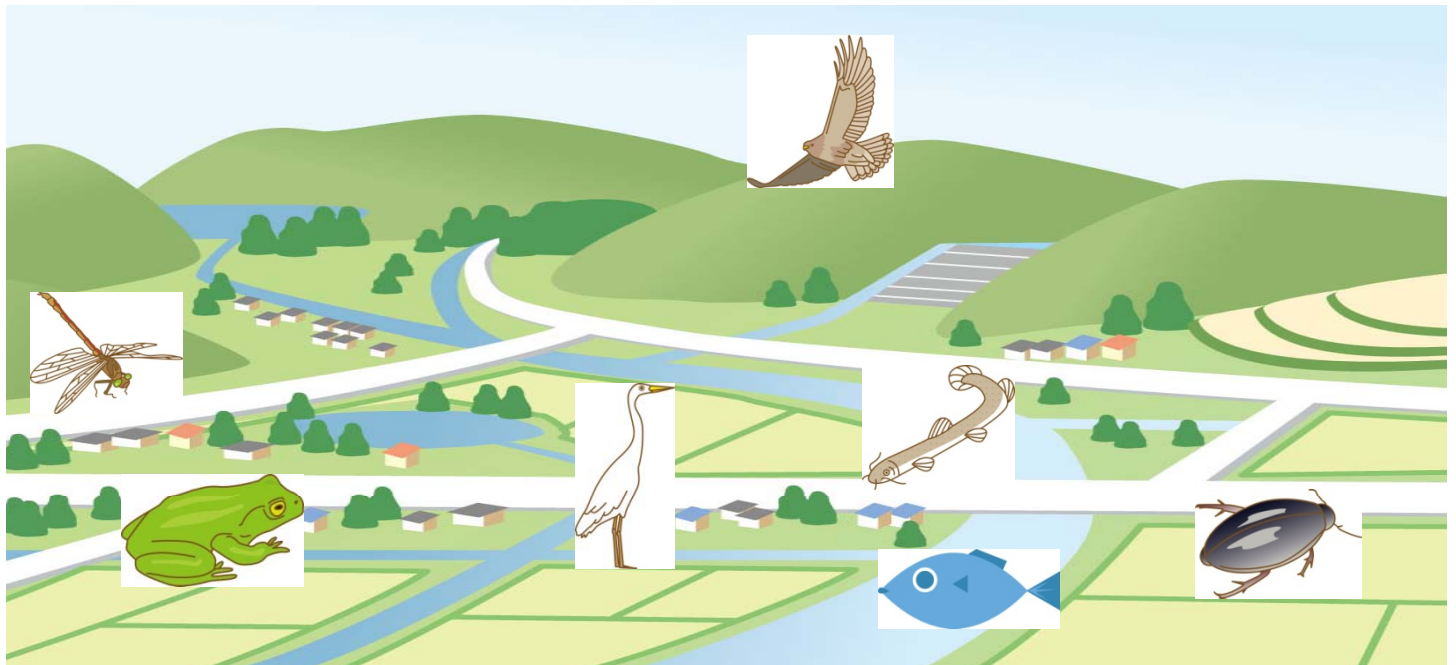
このように農林水産業は、自然の多様な生物が関わる循環機能を利用する活動です。

そして、その持続的な営みを通じて、里地・里山・里海といった特有の自然環境をつくりだしています。このように農林水産業は様々な生きものに棲息・生育環境を提供し、生物多様性保全に貢献しています。

本シンポジウムでは、こうした農林水産業と生物多様性のつながりについて、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

プログラム(予定)

- 主催者あいさつ
- 基調講演
演題:「農林水産分野における生物多様性～生きもの提言～」(仮題)
講師:岡本 明子(環境カウンセラー・主婦)
- 地域の取組紹介
テーマ:「たかしま生きもの田んぼプロジェクト(滋賀県高島市)の取組について」
発表者:本多 清(株式会社アマタ持続可能経済研究所主任研究員)
- パネルディスカッション
テーマ:「生きものへの真摯なまなざしをとりもどそう」(仮題)
本多 清(株式会社アマタ持続可能経済研究所主任研究員)
岡本 明子(環境カウンセラー・主婦)
宇根 豊(百姓、元農と自然の研究所代表)
林 良博(東京農業大学農学部教授)



私たちは応援します



お問い合わせ先

農林水産省近畿農政局
担当者:藤田、前野
代表:075-451-9161(内線2122)
ダイヤルイン:075-451-9165
FAX:075-414-9060

～COP10パートナーシップ事業～

農林水産業と生物多様性

に関するシンポジウム

in 近畿!

9/13

(月)

14:00～16:30

生物多様性の恵み

地球上には、さまざまな環境に適応して進化した、3000万種ともいわれる多様な生きものがあります。こうした生きものの「個性」と「つながり」、すなわち生物多様性が維持されることにより、私たちはさまざまな恩恵を受けています。

生きものが生み出す大気と水
例: 酸素の創出、水や養分の循環、豊かな土壌、気温の調整

暮らしの基礎

例: 食べ物、木材、医薬品、品種改良

生きものと文化の多様性

例: 自然と共生してきた智恵と伝統、地域性豊かな風土

生物多様性の危機

しかし、こうしたさまざまな恩恵を私たちに与えてくれる生物多様性が、現在危機に瀕しています。

人間による開発や乱獲、耕作放棄の増加により、生きものの種が減少してしまっていたり、外来種が持ち込まれ、適切に管理されなかった結果、もともと日本にいた在来種の減少が見られたりします。

COP10/MOP5



本年2010年は国連の定めた生物多様性年です。そして、10月には生物多様性の保全と持続可能な利用について、世界各国の関係者が集まって話し合う会議(生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)及びカルタヘナ議定書第5回締約国会議(MOP5))が愛知県名古屋市で開催されます。

MOP5 2010年10月11日(月)～15日(金)

COP10 2010年10月18日(月)～29日(金)

COP10/MOP5 日本政府公式ウェブサイト
<http://www.cop10.go.jp>

会場案内

近畿農政局第3会議室

京都市上京区西洞院通り下長者町下ル丁子風呂町



(交通アクセス)
京都市営地下鉄
烏丸線
「丸太町」下車
徒歩15分

※(お車での来局
はご遠慮願います)

(切り取らずに、そのまま送信して下さい)

農林水産業と生物多様性 に関するシンポジウムin近畿 参加申込書

入場無料

定員80名

申込日: 月 日

申込締切: 9月8日(水)

参加者が80名を超えた場合には、会場の都合により登録を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

当日は入口でお名前等をご記帳のうえ入館して下さい。

お名前(ふりがな)

所属

ご住所 〒

(必須)

TEL.

(必須)

FAX.

お申し込み先

FAX: 075-414-9060

農林水産省近畿農政局企画調整室
〒602-8054

京都市上京区西洞院通り下長者町
下ル丁子風呂町

TEL: 075-451-9165

いただいた個人情報は本シンポジウムの連絡以外には一切使用いたしません。